

第7回 [日程] 1月23日(木) [場所] ホテル熊本テルサ・1Fテルサルーム

13:00(受付)~  
17:00(終了)

定員  
30名

学びのポイント インバウンドにおける宿泊・富裕層向けのトレンドについて学ぶ

- ①13:20~13:30 開会、オリエンテーション
- ②13:30~14:30 「お宿が地域づくりの核になる新たな宿泊のカたち」 永田 祐介
- ③14:30~14:40 質疑応答+グループディスカッション
- ④14:50~15:40 「九州の農泊・民泊・インバウンドのトレンドとニーズ」 粉 大輔
- ⑤15:40~16:00 質疑応答+グループディスカッション
- ⑥16:10~16:40 「協力隊として移住し、創業を経て、これからの思い」 村上 貴志



**永田 祐介**  
[内牧温泉蘇山郷三代目館主]  
内牧温泉「蘇山郷」の3代目。震災後、復旧作業を行い、2か月あまりで営業再開にこぎ着け。熊本地震被災地応援ファンド第1号として、「満天の星空」屋上バーランドを開始して、新しい資金調達の方法で宿に魅力付けも行っている。「あか牛丼」や「Frat内牧」などの地域づくりを行う。



**粉 大輔**  
[株式会社VISIT九州/くまもとDMC福岡オフィス]  
九州電力の「関連子会社の新規事業開発部門」に所属し、韓国の個人旅行者を九州の旅館・ホテルに集客する「KYUSHURO(九州路)」事業の立ち上げ・運営に従事。退職後、「KYUSHURO」事業を引き継ぐと共に、その事業資産を活用して世界各国の富裕層を九州に集客する「株式会社VISIT九州」を設立し、代表に就任。



**村上 貴志**  
[熊本移住計画代表/元菊池市地域おこし協力隊 ※H25年度本塾卒業生]  
ソフトバンク・経営コンサルタントを退職後、菊池市の地域おこし協力隊として、移住定住コンシェルジュに就任。現在、菊池市にてU-Bito JAPAN(株)を立ち上げ、熊本移住計画の代表を務めるなど、経験を生かして活動中。

第8回 [日程] 2月12日(水) [場所] 熊本県庁→西原村→熊本県庁

13:00(出発)~  
18:10(到着)

定員  
30名

学びのポイント 熊本県内の農泊・民泊の現状をリアルに体感しつつ、熊本県内の現状について学ぶ

- ①13:00~13:50 バス移動(熊本県庁→西原村)
- ②13:50~15:00 現地研修「外国人も引き寄せられる農家民泊と、お客さんとのふれあいの楽しさ」 [西原村] 農家民泊 たわら山
- ③15:20~16:10 「暮らしを仕事に! 農家民泊の忙しいスローライフ」 藤瀬 吉徳
- ④16:20~17:00 「農泊・民泊~多様な客層に向けたむらづくり~」 江藤 訓重
- ⑤17:00~17:20 質疑応答+グループディスカッション
- ⑥17:40~18:10 バス移動(熊本空港近隣会議室→熊本県庁)

[西原村] 農家民泊 たわら山

西原村の自然を楽しんでもらおうと坂本夫婦が始めた農家民泊「たわら山」。季節ごとの特色ある農家体験も可能で、養鶏場では玉子拾いも体験することができる。空港から近い立地もあり、宿泊者の約半数が海外からのお客様となっている。英語は話せないが、様々な工夫を凝らし温かなふれあいができる宿として多くの人が訪れている。



**藤瀬 吉徳**  
[農家民宿 具座]  
福岡県三瀬村の代々続く農家で生まれ育った藤瀬さんが地元の役場を退職して始めた「具座」は築100年の納屋を改装した1日2組限定のお宿。13周年を迎え、今では年間500人を受け入れている。五右衛門風呂の火炊きや山菜・タケノコ狩り、冬場の雪道歩きなど、四季を通じて、里山農家ならではのさまざまな体験を提供している。



**江藤 訓重**  
[阿蘇地域振興デザインセンター事務局長]  
小国町生まれ。大学卒業後、農林業の傍ら、小国のタウン誌「とっばす」を主宰。おぐにみらい塾長を経て、研修交流施設「木魂館」館長。国土交通省地域アドバイザーや熊本ツーリズムコンソーシアム会長などを歴任。現在は、阿蘇地域振興デザインセンター事務局長。

## 申込方法

各開催日10日前までに、下記FAX・メール・HP申込みフォームから、必要事項を記入の上、お申込み下さい。(HP申込みフォームが便利です。FAX・メールの方は、下記の必要事項を任意の様式でご記入下さい。)

FAX 092-739-6081 MAIL imai@idea-p.co.jp HP <http://www.kumuhito.net>

**受講条件** 熊本県内在住で、農村地域においてむらづくり活動を支援・実践している(予定を含む)個人、市町村職員、NPO職員、自治組織及び任意団体の構成員等であること。

**必要事項** 氏名・年齢・性別・お住まいの市町村名・電話番号・E-mail・所属・現在の活動内容・本講座を通して学びたい事・受講を希望する講座

さらなる実践に向けて

## アドバイザー派遣

本塾の受講者を対象に、専門的・実践的な知識と経験を有するアドバイザーの派遣を行います。意欲的に取り組む活動組織の課題解決の指導や、団体などの学習会や意識醸成などにぜひ、ご活用下さい。

**条件** 農山漁村地域におけるむらづくり活動に意欲的であり、アドバイザーを受け入れる体制が整っている任意の活動組織・NPO法人・各種団体・市町村等(1回×5箇所を予定)。派遣に要する謝礼・旅費はむらづくり課が負担します。会場等は、受け入れ団体でご用意下さい。

**必要事項** 下記HP申し込みフォームから、必要事項を記入の上、お申込み下さい。むらづくり・事務局にて審査を行った後、選定した5箇所に講師の選定・日程・内容等の調整を行い、アドバイザー派遣を行います。(お申込み頂いた全ての団体に派遣できるものではありませんのでご留意下さい。目的や意欲等を踏まえて審査いたします。)

HP <http://www.kumuhito.net>

お問い合わせ

熊本県農林水産部農村振興局 むらづくり課 TEL:096-333-2415(担当:片山)  
熊本県立農業大学校 研修部 TEL:096-248-6600(担当:今山)  
事務局 イデアパートナーズ株式会社 TEL:092-739-6080(担当:宮路・今井)

令和元年度

# 熊本むらづくり 人材育成塾

塾生募集

受講無料

「熊本むらづくり人材育成塾」は、県内の意欲ある農業者や、農山漁村地域における多彩なむらづくり活動を展開する方々を対象に、講座を実施します。

今年度は、「稼げる農山漁村」をテーマに実践的なスキルを身に付けます。

皆さまのこれまでの活動・取り組みを更に魅力的なものにし、また仲間を見つけて頂く為の講座です。

今年の講座内容は、下の表のとおりです。

むらづくりについて幅広く学べる内容ですので、ぜひご参加ください。

第1回	9月18日(水)	【座学】むらづくり・地方創生・地域活性化を考える
第2回	10月22日(火)	【座学】ローカルでの取り組みの必要性和重要性を具体例を通して学ぶ
第3回	10月25・26日(金・土)	【現地研修】農泊・民泊を体感し具体的なアクションを学ぶ(安心院宿泊)
第4回	11月12・13日(火・水)	【現地研修】農泊・民泊を体感し具体的なアクションを学ぶ(人吉球磨宿泊)
第5回	11月19日(火)	【座学】WEBサービスを活用したむらづくりの手法と情報発信について学ぶ
第6回	12月12日(木)	【座学】地域の産品を活用した、売れる特産品やメニュー開発に学ぶ
第7回	1月23日(木)	【座学】インバウンドにおける宿泊・富裕層向けのトレンドについて学ぶ
第8回	2月12日(水)	【現地研修】農泊・民泊を体感しつつ、県内の現状について学ぶ

熊本県農林水産部農村振興局 むらづくり課

第1回 [日程] 9月18日(水) [場所] 熊本県青年会館201

13:30(受付)~17:30(終了)

定員60名

学びのポイント 【公開講座】 くらづくり・地方創生・地域活性を考える!

- ①14:10~14:20 開会・オリエンテーション
②14:20~15:30 「世界が憧れる九州を創りたい!~世界と繋がる地方創生起業論~」 村岡 浩司
③15:45~16:30 「人・企業が自分ゴトで地域に関わる時代が来た!~1人称マーケティングで地域の魅力を伝える~」 井手 修身
④16:30~17:10 質問&トークセッション 村岡 浩司 井手 修身

村岡 浩司 有限会社一平(九州パンケーキ)・NUKASA-HUB 代表 「世界があこがれる九州をつくる」を経営理念として、九州産の農業素材だけを集めて作られた九州パンケーキミックスをはじめとする、[KYUSHU ISLAND@九州アイランド]プロダクトシリーズを全国に展開...

九州パンケーキ 「九州パンケーキ」は、九州産の素材のみで作られたパンケーキミックス粉。今や大ヒット商品となり、九州だけでなく全国3,000店舗のスーパーマーケットでも販売し、九州で展開する「九州パンケーキカフェ」は海外にも進出し大人気となっている。

井手 修身 「アイデアパートナーズ(株) 代表取締役」 熊本大学卒業。リクルートに入社して以来、東京を拠点に観光振興、まちづくり、Uターン人材誘致等の領域で、全国数多くのプロデュースを手掛け、実績を上げる。2006年に「人材×マーケティング」で観光・集客事業の再生を行うアイデアパートナーズ株式会社を起業し、現職。九州を中心に地域活性化のプランニングや、観光商品の開発や販売に携わる。

第2回 [日程] 10月22日(火) [場所] ホテル熊本テルサ・1Fテルサルーム

13:00(受付)~17:10(終了)

定員30名

学びのポイント ローカルでの取り組みの必要性と重要性を具体例を通して学ぶ

- ①13:20~13:30 開会・オリエンテーション
②13:30~14:30 「SDGsを通して自ら行動する持続可能なまちづくり」 眞鍋 和博
③14:30~14:50 質疑応答+グループディスカッション
④15:00~16:00 「ローカルに根ざしたビジネスの創造と立上げの手法」 眞鍋 邦大
⑤16:00~16:20 質疑応答+グループディスカッション
⑥16:30~17:00 グループワーク「自己紹介を通してむらづくりの仲間を見つけるWS」

眞鍋 和博 [北九州市立大学 地方創生学群 教授・サステナブル北九州 代表] リクルートにて企業の人材採用、大学生のキャリア形成プログラムの開発営業等を経て北九州市立大学地域創生学群教授、地域共生教育センター長に着任。また、地域創生学群の創立・マネジメントに尽力。SDGs未来都市に選定された北九州を中心に「SDGs 社内リーダー育成研修」を行うなど、SDGsに関する様々な講演やワークショップを展開。

眞鍋 邦大 [株式会社 四国食べる通信 代表取締役] 1978年、香川県生まれ、博士(農学)。リマン・プラーズなど複数の外資系金融機関を経て2012年に小豆島に移住。約45年創業、地域資源を活用したローカルビジネスの開発を手掛ける。2014年には編集者として食付付きの情報誌である「四国食べる通信」を創刊。「四国食べる通信」は、かがむビジネスモデルチャレンジコンペ2014優秀賞を受賞した。2017年、第一子の誕生を機に兵庫県に拠点を移し、現在は、神戸大学と豊山大学の官学連携事業においてコーディネーターを務める傍ら、事業家として食や地域づくりの分野で各種のビジネスの立ち上げに携わっている。

第3回 [日程] 10月25・26日(金・土) [場所] 熊本県庁→安心院→熊本県庁

10:40(出発)~翌14:00(到着)

限定20名

学びのポイント 農泊・民泊の現状をリアルに体感し 具体的なアクションを学ぶ

- ①10:40~14:20 バス移動(熊本県庁→安心院) \*途中昼食1C
②14:20~14:30 開会・オリエンテーション
③14:30~15:20 「未来ある村の心へ~農泊発祥の地安心院 1993年から2018年の取り組み~」 宮田 静一
④15:30~16:10 「ありのままのグリーンツーリズム」 中山 ミヤ子
⑤16:30~翌9:00 受け入れ家庭にて宿泊(夕食・交流・宿泊・入浴)
⑥ 9:20~ 9:50 グループワーク「学んだ事の共有と、これからの考えるGW」
⑦ 9:50~10:40 「ひとひとりが暮す価値~移住者が起こす小さなコミュニティづくり~」 余村 紫
⑧11:00~14:00 バス移動(安心院→熊本県庁)

\*参加者負担/食費(昼食2回)、朝食・夕食、入浴料 ※事務局負担/宿泊料・集合場所からの交通費

宮田 静一 [NPO法人 安心院グリーンツーリズム研究会 会長] 1992年グリーンツーリズム研究会発足当時から関わり、会長を務める。大分県グリーンツーリズム研究会代表も兼任。2003年に国土交通省の観光のカリスマに認定される。専業でぶどう農家、直売所も営む。現在「未来ある村日本農泊連合」を立ち上げ、農泊の普及に尽力。

中山 ミヤ子 [農家民泊 舟板昔話の家] 養蚕・畜産を生業としながら、昭和の食と住まいを体験出来る宿「舟板むかしばなしの家」を営み、田舎ならではのホスピタリティを提供。「農林漁家民宿おかあさん100選」にも選ばれ、農泊の先駆者、受け入れを行ううえでの楽しさや工夫を学びます。

余村 紫 [KIZUNAの根っこ代表・元荊田町地域おこし協力隊] 大学卒業後、農産物の販売や流通を担う商社などに携わる。田舎暮らしに憧れ、等覚寺の景色に一目惚れ。等覚寺に住みたい一心で協力隊に応募し、着任。等覚寺の産品を使った「天空カフェ」や地域の人々を巻き込んだ農業体験「荊田の学校」を企画し、地域の魅力を発信し続けている。

第4回 [日程] 11月12・13日(火・水) [場所] 熊本県庁→リュウキンカの郷→熊本県庁

13:00(出発)~翌12:00(到着)

限定20名

学びのポイント 農泊・民泊の現状をリアルに体感し 具体的なアクションを学ぶ

- ①13:00~14:30 バス移動(熊本県庁→リュウキンカの郷)
②15:00~16:00 「食で繋げる「ひと・まち・くらし」による地域の再生」 本田 節
③16:00~17:30 食の実績(季節×郷土料理)
④17:30~20:00 入浴・夕食交流会(宿泊家庭を交えて)
⑤20:00~翌9:00 各家庭で宿泊交流
⑥ 9:20~10:10 グループワーク「学んだ事の共有と、これからの考えるGW」
⑦10:30~12:00 バス移動(リュウキンカの郷→熊本県庁)

\*参加者負担/食費(朝食・夕食)、入浴料 ※事務局負担/宿泊料・集合場所からの交通費

本田 節 [有限会社 ひまわり亭代表] 熊本県球磨郡相良村の専業農家に生まれ。「ひまわりグループ」を結成し、ボランティアやまちづくり活動始める。そこで出会った仲間たちと地産地消「食」を地域資源とした拠点、郷土の家庭料理「ひまわり亭」を立ち上げる。現在「リュウキンカの郷」を立ち上げ、エリア・村の農泊推進にも尽力。

リュウキンカの郷 リュウキンカの郷は、食の郷育拠点として人・地域・文化を繋げる食のエコミュージアムとして昨年オープン。地域の資源や先人達の知恵を複合的につなぎ、新たな農村コミュニティを創造し、地域が稼ぐ事の出来る中間支援組織として活動。

第5回 [日程] 11月19日(火) [場所] 熊本農業大学校研修交流館

13:00(受付)~17:00(終了)

定員30名

学びのポイント WEBサービスを活用したむらづくりの手法と情報発信について学ぶ

- ①13:20~13:30 開会・オリエンテーション
②13:30~14:20 「農泊・民泊を活用した地域活性化と、売れる為の手法」 小柳 秀吉
③14:20~14:40 質疑応答+グループディスカッション
④14:50~15:40 「売れるプランの特徴とは?~体験予約サイトasoview!の活用方法~」 熊野 学
⑤15:40~16:00 質疑応答+グループディスカッション
⑥16:10~16:40 「地域情報メディア「肥後ジャーナル」を活用した地域づくりの方法」 森 亮介

小柳 秀吉 [株式会社 トップシード 代表取締役] 楽天トラベルにてWEB広告の企画営業、地域振興事業部立ち上げ、インバウンド事業部のマネージャーを経験。その後、旅行系ベンチャーの立上げを担い、民泊事業の基盤づくりに携わる。平成29年より法人を立上げ日本各地の民泊の戦略策定や運営の手法構築、集客等のサポートを実施中。各地で民泊セミナーを多数開催し、「未来ある村日本農泊連合」の理事も務める。

熊野 学 [アソビュー株式会社 パナートナーリレーション部 リーダー] ISiD、ISiD-AOにて人事・給与パッケージ導入コンサルタントを経て、2014年にアソビュー株式会社に入社。全国の遊園地や水産館、温泉施設へのWEB集客やプロモーションに携わった後、現在はインドア・アウトドアの体験アクティビティを担い、各地の農産パートナーで申込数向上を実現させ、asoview!ユーザーが選ぶ今おすすめの遊び・体験・アクティビティを決定する祭典[ASOVIEW AWARD 2019]を日本初開催。

森 亮介 [肥後ジャーナル運営事務局 ※H25年度本職卒業生] 熊本県立熊本工業高等学校卒業後、東京都の設計会社に就職。帰郷し地場企業に転職し、営業職に就く。腰の怪我で入院したことをきっかけに退職し、2015年、入院中のベッドの上で熊本の地域情報発信サイト「肥後ジャーナル」を開設。約2年で月間50万アクセスのメディアに成長させている。

第6回 [日程] 12月12日(木) [場所] ホテル熊本テルサ・2F中会議室

13:00(受付)~17:00(終了)

定員30名

学びのポイント 地域の産品を活用した、売れる特産品やメニュー開発について学ぶ

- ①13:20~13:30 開会・オリエンテーション
②13:30~14:20 「売れなければ特産品とは呼べない!~六次産業化・農商工連携の実践編~」 中野 幸浩
③14:20~14:40 質疑応答+グループディスカッション
④14:50~15:40 「地域らしさを食に載せて~ジビエなどの産品を活用したメニュー考案の手法~」 小野 貴史
⑤15:40~16:00 質疑応答+グループディスカッション
⑥16:10~16:40 「学びの整理を兼ねたマーケティング・フレームワークの活用方法」 宮路 幸裕

中野 幸浩 [中野ユキヒロ商店代表] 和食専門店を経て、魚料理への興味からスーパーの鮮魚売り部門の責任者に。その明るさと隠れたトークで名物社員となる。九州のムラ市場の立ち上げや運営に携わりつつ、消費者と生産者と地域を繋ぐ、活力を生み出す交流の場を築き上げる。現在は独立。

小野 貴史 [株式会社ONO 代表取締役] イタリアの調理学院を卒業後、カナダ・都内のホテル・レストランにてフレンチ、イタリアン、パティシエの研究を積み、「ホテルグランドホテル」オープンにともない、総料理長に就任。2012年よりスライス・チューリップのレストランにて料理長として活躍し海外のメディアにも多数取り上げられる。町おこし、企業商品開発、新聞・テレビのレシピ提供など幅広く活躍し、現在はレストランCARNE(カルネ)の料理長、プロフェッショナルアドバイザー・オブ・ハーブの称号も持つ。

宮路 幸裕 [アイデアパートナーズ株式会社ディレクター] 分館マンションディベロッパー、大規模プラント現場監督責任者等を経て、アイデアパートナーズに合流。組織(DMO)の強化・立上げ、人材育成、事業計画、観光アクションプラン策定及び商品化などを中心にビジネスとして継続出来る仕組みづくりを念頭に事業の実施。「福岡体験バスチケット」「屋台きっぷ」等を担当し、年間3万人×約7年着地型観光商品を販売。

農・観連携講座

「くまもと農業アカデミー」と連携による、農業・観光・農泊を特にテーマとした講座です。

選択受講OK!!

興味のあるテーマだけ選んで受講もできます。申込多数の場合、選考・抽選となります。

\*参加費は無料ですが、駐車場代等が必要な場合がありますので、ご理解の程よろしく願いたします。